

令和3年度東村山市総合教育会議の進め方について意見整理

1. 今年度の総合教育会議を進めるにあたって

主なご意見
<ul style="list-style-type: none">● コロナ禍で、様々なことが予定通りに運べなくなってしまった中で、令和2年度も4回の会議を確保していただき、感謝している。● 会議の都度、具体的な資料を作ってください、さらに、各担当から分かりやすくご説明頂いて大変有り難かった。● お忙しいことは十分承知しているのですが、資料に目を通してから出席したいと考えていますので、可能なら、事前にお届けくださると助かります。● 実に大きな教育改革につながるギガスクール構想が始まるので、総合教育会議での報告事項として、どのように進められているのかを共有したい。令和4年度の本会議で、東村山におけるギガスクールの到達点や課題、充実の方向性を議論することが必要となると予想される。

2. 教育の諸課題について提案一覧

主なご意見
<ul style="list-style-type: none">● SDG s の理念を教育分野で普及・定着させるため、市長部局と教育委員会で連携できること。● 国重要文化財となった「下宅部遺跡出土品」の今後の管理、展示方法について。● 外国を母国とする方々の子育て（特に学校教育）や生活への支援について。● 「生涯を通じて心身ともに健康な生活を送る資質や能力を育てるための学校、家庭、地域社会の取り組みについて」 <p>【理由】</p> <p>学校教育を中心としながら、家庭教育、社会教育の充実についても議論していきたいと考えています。</p> <p>健康リテラシーの育成は、子供だけでなく市民全体の課題でもあります。</p> <p>食に関する教育をはじめ、多くの要素があるので、健康を軸としながら、家庭、地域の教育力の活性化も期待でき、SDG s（直接的には目標の3）</p>

の達成につながると考えます。

特に、コロナ禍における生活習慣と健康の問題や心の健康等について、学校と関係機関との連携の在り方も合わせて、広く取り上げてみたら如何かと思っています。合わせて、子供たちの体力の向上を目指した取り組みについても整理できるといいのではないかと思います。

- GIGAスクール構想の実現と充実に向けた取り組みについて

【理由】

教育委員会教育施策にも挙げられている取り組みではありますが、ハード面、ソフト面等、幅広い環境整備が重要であり、実践上の成果や課題を整理、共有することも大切ではないかと考えました。

多様な子供たち1人1人の力を引き出し伸ばしていくために、ICTを利活用するとともに、協働的な学びの推進も強調されています。持続可能な社会の担い手を育成する視点からも改めて確認しておきたいと思います。

- 感染症や災害の発生を乗り越える学びの保障に関する取り組み

【理由】

取り上げる時期は迷いますが、これまでの取り組みを総括し、どのような状況にあっても、学校教育の充実を図っていく多角的・多面的な支援について協議し、今後の充実を図りたいと考えています。

- 災害時における市内小中学校、地域の取り組みについて

R2年度も行いましたが、継続することを提案します。

特に、ハザードマップなどをもとに、各学校・学区において、どのような災害が起こりうるのか共通理解を図ったうえで対策・備えについて議論を深めたいかがでしょうか。

- 地域社会と連携した学校教育におけるSDGsの在り方について

東村山の産業界や地域が力を入れているSDGsの取り組みと、学校教育における取り組みをつなげ学校教育におけるSDGsの在り方について議論を深めたい。これが街作りの軸に発展する可能性もある。

- オリンピック・パラリンピックを終えて、この経験を学校教育等にどのように継続・発展させるか

- 市内小中学校各校のGIGAスクールについての取り組みや現状について実際にスタートしてみた中での課題や問題が出てくると予想されます。

それぞれの問題解決にどう対応したかなどの情報共有をするため、市内小中学校での情報共有の進め方などを予め決めておくこと今後の対応がスムーズに行えると思います提案致しました。

● 全ての児童クラブの延長保育について

現在共働き世帯が多く、市民の多くは市外の会社に通勤されています。企業によっては就業時間が17時半というところも多く、児童クラブの時間がもう少し長いと助かるという声もあります。市内では一部の児童クラブは18時45分まで延長保育がありますが、全ての児童クラブにも延長保育が適応されると、より子育てしやすい街づくりにつながるのではないかと思います提案致しました。

● 災害時の避難所運営について

東北大震災から10年の月日が経ち、また最近でも地震が頻発している現状です。実際その時に職員の方々のみで避難所での対応を行うことは大変だと思われます。人手が足りなかった時のことを想定して、市民へのボランティアの募集や勉強会、避難所での役割分担などシュミレーションする機会があればと思います提案させていただきました。